

-9 遡上した魚を戻さない
 魚道を遡上して上流端を通過した魚は、横断施設上の流況によって再び下流へ戻る場合があるが、これを防ぐための事例がある。

きゅうはなぞのとうしゅこう
旧花園頭首工 ~遡上した魚を再び降下させない誘導壁~

地 域：北海道 石狩川 旧花園頭首工魚道（バーチカルスロット式、延長110.5m（折り返し式）、勾配 1/20、幅員 4.0m）
 施 工 時 期：平成 11 年（事業者：国土交通省 北海道開発局）
 原理（考え方）：魚道を遡上して上流端を通過した魚が、堰軸付近の流速によって降下しないように上流へ向かう誘導壁が施工されている。
 特 徴 と 留 意 点：流下断面の減少及び流木等への留意が必要である。

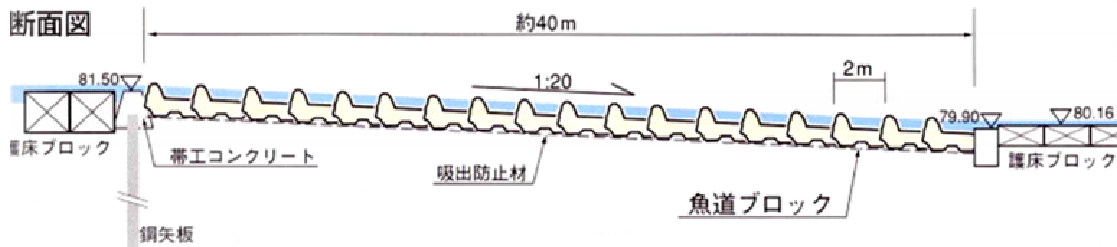


出典) 北海道開発局資料

-10 魚を傷つけない
 サケ等の大型の遊泳魚では、魚道を遡上中に体が隔壁等に触れ、体や鱗を傷つける場合があるため、これに配慮した事例である。

てんどうとよさかとこがため
天童豊栄床固 ~魚道ブロックの形状による魚体への配慮~

地 域：山形県 最上川 天童豊栄床固魚道（全断面魚道+アイスハーバー式魚道、延長約 40m、勾配 1/15~1/20、幅員 250m）
 施 工 時 期：平成 11 年（事業者：国土交通省 東北地方整備局）



出典) 魚道事例集 魚がのぼりやすい川づくり